



「保険でより良い歯科医療を」 愛知連絡会ニュース

「保険でより良い歯科医療を」
愛知連絡会

〒466-8655

名古屋市昭和区妙見町19-2

愛知保険医会館内

TEL ; (052) 832-1349

FAX ; (052) 834-3584

「保険でより良い歯科医療を求める請願署名」 愛知連絡会で35,819筆を集約 国会に提出

「保険でより良い歯科医療を求める請願署名」は1月24日現在、35,819筆、目標達成率59.69%となり、一昨年の38,490筆にあと少しの到達となりました。

全国では約27万筆の集約となっています。未提出の署名は1月27日(木)に国会で署名提出行動を行い提出します。

12月16日(木)には全国連絡会主催の「2021歯科総行動集会」が国会で開催され、全国220カ所をWebでつなぎ、約500人が参加しました。愛知連絡会からは江原連絡会会長、大藪副会長が現地に参加し、Webで3人が参加しました。

集会には与野党の国会議員21人が出席し、メッセージなどを寄せた議員を含めると51人の国会議員が賛同を寄せました。議員からは診療報酬の引き上げ、金パラ逆ざや問題、歯科技工問題の解消に全力をあげるなどの決意表明がありました。

また、歯科医師、歯科衛生士、歯科技工学校長、患者などそれぞれの立場からの発言があり、熱気あふれる集会となりました。集会の後には、それぞれ議員との懇談も行いました。

愛知県保険医協会では、先立つ12月7日(火)に、地元国会議員への要請を行って、26,000筆の署名を提出しました。紹介を引き受けた地元議員は12人になりました。(議員名は右の表)

署名提出にあたって最終的に紹介議員は衆議院議員60人、参議院議員36人の合計96人とこれまでで最高的人数になりましたが、提出された請願は衆議院、参議院ともに「審査未了」で、採択には至りませんでした。請願提出に向けて最後の最後までご協力頂いた皆様に感謝申し上げます。引き続き国民の健康と命を守るため、歯科医療の充実に取り組んで行きましょう。

愛知連絡会の署名集約状況 より良い連絡会35,819筆

(目標達成率 59.69%)

○連絡会	310筆
○民医連	8,229筆
○保険医協会	27,280筆

※紹介議員の引き受け(地元選出議員12人)

○立憲民主党7人

(衆) 大西健介、牧義夫、重徳和彦、近藤昭一
吉田統彦

(参) 斎藤嘉隆、田島麻衣子

○国民民主党2人

(衆) 古川元久、大塚耕平

○日本共産党3人

(衆) 本村伸子

(参) 武田良介、井上哲士

※全国96人(衆議院議員60人、参議院議員36人)

(1月18日現在)



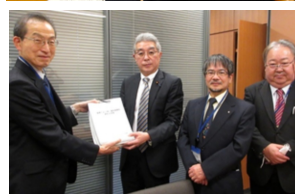
古川元久衆議院議員(左から2人目)



武田良介参議院議員(右)



12月16日の総行動で国会議員に署名を提出



上井上哲士参議院議員(左)
下牧義夫衆議院議員(左から二人目)



本村伸子衆議院議員(左)

12月7日に愛知独自で地元国会議員に署名を提出しました

いい歯デーの街頭宣伝 栄・三越前で市民に歯科の大切さを訴える



「いい歯デー」の街頭宣伝を、名古屋栄の三越前で11月3日（水・祝）に行いました。当日は、歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士のほか、愛知連絡会参加団体の構成員ら14人が参加しました。

江原連絡会会長、大藪副会長ら歯科医師3人と、歯科衛生士、年金者組合からの参加者らが交代でマイクを握り、感染症に対する口腔ケアの有効性や、歯科医療機関の院内感染対策につ

いて紹介。窓口負担の引き下げや、保険適用範囲の拡大を訴え、歯科医療予算の確保を求めました。

今回の街頭宣伝では、シール投票、署名宣伝、歯科医師による歯の健康相談を実施。シール投票では48人が投票し、歯科医院の感染対策により「歯科治療による新型コロナウイルス感染の事例がないことを知っているか」との設問に対して、「知っている」と回答した



感染対策のシール投票に参加する市民

のは15人（31.2%）でした。また、「口腔ケアが感染症予防に有効なことを知っているか」に対して「知っている」と回答したのは26人（54.1%）でした。これらの回答から、歯科医院の院内感染対策の取り組みや、口腔ケアの有効性について、まだ市民に届いていないことが伺えます。

集まった歯科請願署名は29筆でしたが、「子どもの歯科矯正に100万円単位の



歯の健康相談に訪れた親子



お金がかかった。保険でできるとよい」と署名に応じた高校生のお母さんや、「窓口負担が安くて、歯科医院の経営が心配」と語る高齢女性に、「歯科は20年間技術料が上がっていない」と話すと「大変なんですね」とこちらも署名をしていたできました。

保険でより良い歯科医療の実現を求める 田原市が国に意見書を提出

「保険でより良い歯科医療の実現を求める」地方自治体から国への意見書提出を要請する働き掛けは、田原市に9月議会で提出をして継続審議となっていました。12月議会で再提出され不採択となりました。同時にほぼ同様の内容で地元の歯科医師会から請願が提出され、そちらが採択されました。採択された意見書は「国において健診の法制化を行うなど、歯科保健医療を一層の拡充を実現すること」を求めています。意見書では健診の法制化に加えて、口腔衛生や口腔機能の維持が全身の健康や生活の質の向上だけでなく、感染症の予防にも効果があることや、健康的な暮らしを送るための基礎となると訴えるなど、連絡会の請願趣旨とほぼ同様の内容を含んでおり、連絡会の請願が議会での議論や歯科医師会が働き掛けをするきっかけになりました。請願を引き受けた田原市の平野晴康先生も「議会で歯科医療について議論されたことは意義がある」と感想を述べていました。引き続き、近隣の市町などへの要請をすすめていきましょう。

災害時持ち出し備品に「口腔ケア用品」を 愛知県と名古屋市に要請・懇談

災害発生後の避難所などでの口腔ケアが、肺炎予防には重要なため、住民向けの持ち出し品リストや避難所の備蓄品に歯ブラシや歯みがきシートなどの口腔ケア用品を明記するように、自治体への働き掛けに取り組んでいます。

12月21日（火）には愛知県と名古屋市に対して要請行動を行い、江原連絡会会長が懇談をしました。名古屋市はハザードマップの更新にあたって、口腔ケア用品を記載することを検討すると回答をいただき、愛知県も趣旨に賛同いただきました。

1月には全自治体に向けて要請書を送りました。



名古屋市長宛ての要請書を提出